

琵琶湖森林づくり県民税条例の検討の過程について

1. 琵琶湖森林づくり県民税による費用負担の考え方

「滋賀県森林審議会（専門調査会）」および「森林づくりの費用負担を考える懇話会」において、費用負担の考え方を以下のように整理されたところ。

それらを受けて、県において検討をおこない、「琵琶湖森林づくり県民税条例」を定めたところ。

（１）滋賀県森林審議会（専門調査会）での整理（詳細は【別紙１－１】参照）

◆ 県民全体による費用負担の必要性

森林が琵琶湖の水源として極めて重要な役割を果たしていることから、水源かん養機能をはじめとした森林の多面的機能が持続的に発揮されるよう、森林を適切に整備していくことが必要である。

県においては、森林所有者を中心とした林業施策による森林の多面的機能の維持・確保には限界が生じている現状を踏まえて、今日まで実施してきた施策を総点検し見直すとともに、今までの枠組みとは違い、森林の恩恵は広く県民全体に及ぶという認識にたつて、新たな施策を総合的に展開していかなばならない。

こうした施策は森林整備の性質上、長期的・継続的に展開していく必要性があり、そのためにも一定の安定的な財源の確保が是非とも必要であるとされたところ。

また、県民は、これまでも森林から計り知れない恩恵を享受しており、これからも享受し続けていくためには、森林を適切に整備していくことが極めて重要であり、このことが、琵琶湖を守ることに繋がっていくということを十分理解し、森林整備を単に森林所有者に任せるのではなく、県民全体で守り育てていく必要があるという認識のもと、その整備費用についても広く県民全体で負担していくことが必要であるとされたところ。

◆ 新たな費用負担の手法

新たな費用負担を求める手法としては、新たな税の創設や、県民等の募金や寄附という形で資金を集め、それを運用するために基金を設置する手法などが考えられたところ。

また、今後、森林整備に係る費用負担の手法を検討するに当たっては、税にしても、募金・寄附にしてもそれぞれの特徴に応じてメリット・デメリットがあるので、それぞれの長所を活かす方法で、多元的に財源確保を図るよう工夫していく必要があるとされたところ。

（２）森林づくりの費用負担を考える懇話会での整理（詳細は【別紙１－２】参照）

◆ 費用負担の考え方

琵琶湖森林づくり条例の基本理念を踏まえ、滋賀にふさわしい環境重視と県民協働で取り組む森林づくりは、これまでの木材生産を軸とした林業施策の体系には含まれない新たな視点に立った施策であり、その事業効果は広く県民全体に及び公益性が高い施策であることから、その必要な費用は、森林から多くの恵みを享受している県民全体に新たな負担

を求めることが妥当とされたところ。

【琵琶湖森林づくり条例に基づく新たな森林づくりの方向】

- ・ 環境重視の森林づくり
：琵琶湖と森林との環境を重視し、琵琶湖の水源かん養など森林の公益的機能の高度発揮を目指す施策
- ・ 県民協働による森林づくり
：森林が琵琶湖と人々の暮らしと切り離すことができない県民共通の大切な財産であることから、県民が、森林について理解と関心を深め、主体的に参画し協働で森林づくりを推進するという新たな仕組みで森林づくりを支えていく施策

【琵琶湖森林づくり県民税（以下「県民税」という。）を充当する事業の基本的な考え方】

- ・ 事業効果が広く県民全体に及び公共性、公益性が高く、事業内容が県民にはっきりと見える事業であること。
- ・ 県民の森林に対する理解や関心を深め、森林づくりへの参画意識の高揚に資する事業や、県民の主体的な参画による協働で森林づくりに取り組む事業であること。
- ・ 新たな負担は、県・市町の公有林や造林公社営林地など公的に管理されている森林を除いた私有林を対象とした森林づくりに充当すること。

※琵琶湖森林づくり条例の基本理念（琵琶湖森林づくり条例第3条）

- ・ 森林の多面的機能の持続的発揮と地域の特性に応じた森林づくり
- ・ 県民の主体的な参画による森林づくり
- ・ 全ての県民の適切な役割分担と協働による森林づくり
- ・ 県内の森林資源の有効利用の促進による森林づくり
- ・ 森林づくりを支える人材の確保・育成を図りつつ推進する森林づくり

（３）新たな森林づくりのための（仮称）琵琶湖森林づくり県民税について（滋賀県）

荒廃した森林の増加により、水源かん養などの多様な公益的機能が損なわれ、琵琶湖の水環境保全や県民の暮らしに大きな影響を及ぼすおそれがあることから、荒廃した森林の解消はもとより、これ以上荒廃した森林が増加しないよう、森林の価値を再認識し、公益的機能がより高度に発揮される適切な森林整備を推進することが喫緊の課題であるため、環境重視と県民協働という新たな視点に立った施策を緊急かつ継続して推進していく必要が求められている。

また、懇話会においても整理されたように、新たな視点に立った施策の事業効果は、広く県民全体に及ぶ公共性、公益性が極めて高いものと考えられ、その必要な費用については、森林の持つ公益的機能から計り知れない恵みを享受している全ての県民が、共同して等しく負担していくことが必要と考える。

さらに、新たな負担は、県民一人ひとりが滋賀の森林の価値や森林整備の重要性に対する理解や関心をより一層深め、森林づくりに積極的、主体的に参画しようとする意識の醸成につながることを期待できる。

これらの理由や他の費用負担の方法との比較、検討により、新たな費用負担は、「県民税超過課税方式」により行うこととし、琵琶湖森林づくり県民税条例第1条は次頁のとおり規定したところ。

琵琶湖森林づくり県民税条例

(趣旨)

第1条 この条例は、琵琶湖の水源かん養、県土の保全等すべての県民が享受している森林の有する公益的機能の重要性にかんがみ、県民の理解と協力の下、公益的機能が高度に発揮されるような森林づくりのための施策を推進し、滋賀の森林を健全な姿で未来に引き継いでいくことが必要であることから、当該施策に要する経費の財源を確保するため、琵琶湖森林づくり県民税として、県民税の均等割の税率について滋賀県税条例の特例を設け、これに必要な事項を定めるものとする。

(4) 琵琶湖森林づくり事業について (参考【別紙2】参照)

琵琶湖森林づくり県民税の充当事業については、滋賀県森林審議会(平成18年)において、環境重視・県民協働を柱に次の8つの事業に整理されたところ。

○ 琵琶湖森林づくり事業の内容【2つの柱と8つの事業】

(1) 環境を重視した森林づくり

琵琶湖と森林との環境を重視し、琵琶湖の水源かん養など森林の公的機能の高度発揮を目指す施策

[事業内容]

- | | |
|--------------------|------------------|
| ① 陽光差し込む健康な森林づくり事業 | ③ 森林を育む間伐材利用促進事業 |
| ② 長寿の森奨励事業 | ④ 里山リニューアル事業 |

(2) 県民協働による森林づくり

森林が琵琶湖と人々の暮らしと切り離すことができない県民共通の大切な財産であることから、県民が、森林について理解と関心を深め、主体的に参画し協働で森林づくりを推進するという新たな仕組みで森林づくりを支えていく施策

[事業内容]

- | | |
|------------------|------------------|
| ⑤ 協働の森づくりの啓発事業 | ⑦ 未来へつなぐ木の良さ体感事業 |
| ⑥ みんなの森づくり活動支援事業 | ⑧ 森林環境学習「やまのこ」事業 |

また、事業効果や使途の妥当性については滋賀県森林審議会において、毎年点検・評価がされているところ。

2. 琵琶湖森林づくり県民税条例の検討

(1) 琵琶湖森林づくり県民税条例改正検討会での検討 (詳細は【別紙1-3】参照)

前回の戦略プロジェクト(平成22年度～平成26年度)の見直しにより森林づくり事業として新たに実施する事業が追加された。

検討会においては、森林審議会において議論され、琵琶湖森林づくり事業として新たに実施することが妥当とされた事業へ県民税を充当することについては、適当と考えるとともに、新たに充当事業を導入する場合は、事業内容を精査し、十分に説明する必要があるとされたところ。

また、戦略プロジェクトの基になる基本方針や基本施策は、税制度設計時と変わっていないこと、また、この戦略プロジェクトに基づく新規事業は、充当事業の基本的な考え方に則したものが実施されることから、琵琶湖森林づくり事業の対象範囲に新たな取組が加わったことに関して、県民税条例を改正する必要はないとされたところ。

それらを受けて、県民税条例の改正の内容は次頁のとおりとされたところ。

- ◆改正事項 : 次の見直し時期については、更に5年後を目途に見直しを検討する。
- ◆その他検討事項 : 現行の超過課税制度・税率等は継続する。

(2) 琵琶湖森林づくり県民税条例検討会での検討

県民税条例付則第6条に「知事は、琵琶湖森林づくり県民税条例の一部を改正する条例（平成22年滋賀県条例第45号）の施行後5年を目途として、この条例の施行状況、社会経済情勢の推移等を勘案し、必要があると認めるときは、この条例の規定について検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとする。」と規定されていることから、今回の基本計画の見直しと並行して、県民税条例の検討をおこなう必要がある。

そこで、検討会を設置し、琵琶湖森林づくり県民税の制度等について、委員より意見を伺い、それらの意見も踏まえて検討を行うこととした。